

建設業で本当にあった心温まる物語

協力＝全国土木施工管理技士会連合会、NPO法人建設経営者倶楽部K K C
降籙達生（ハタコンサルタント代表取締役）選



「南垣さん」
と私の名前が

日本建設 南垣 秀登（大阪府）

入社して4年目に担当した現場でのことです。物流倉庫を増築する工事で所長と派遣社員、そして私の3人で現場を担当しました。その現場は施主の敷地内での工事のため、毎日、出勤時、退勤時に施主の事務所に工事の状況を報告しなくてはなりませんでした。

いつも私が現場へ一番に出勤、一番最後に退勤して施主に報告をしていました。幸い、現場は大きな問題なく終わり倉庫が完成しました。

施主の社員さんと現場関係者で竣工式を行うとのことで、私も参加することになりました。式の途中でのことです。社長あ

最高の親孝行ができた

呼ばれたのです。続いて、「君が、毎日朝早くから夜遅くまでがんばってくれたおかげで倉庫が無事に完成したよ」と褒めてくださったのです。がんばってくれたお札にということで「両親と3人で温泉旅行に行っておいで」と、旅行券と休日をプレゼントしていただきました。

実は当時、私は両親とあまり関係が良くありませんでした。少し悩みながら、両親に「会社から旅行券をプレゼントしてもらったよ。どうする？」と伝えると照れくさい顔をしながら「一緒に行くのか」と言ってくれました。最高の親孝行をすることができました。

がんばっていれば誰かが見ていてくれ、評価してくれることを改めて感じた出来事でした。